東大人文・淀江プロジェクト
第４回 特別講座

淀江の個性を どのように考えるか

日　時
令和８年
9月19日（土）
14:00 ～ 16:00（開場 13:30 ～）

会　場
米子市淀江文化センター
イベントホール
米子市淀江町西原708－4

参加費 無 料
※要事前申込

定　員
100 名

鳥取県道 172 号淀江停車場線
淀江のまちなみ 昭和→令和

淀江には、妻木晩田遺跡、向山古墳群、石馬、上淀廃寺と古代の重要遺跡が密集しています。しかし、そういう遠い昔の遺跡だけでなく、いま皆さんが毎日歩いている街並み、眺めている建物や景観のなかに、近世・近代の歴史が刻まれています。先人たちが残した足跡がそこにあると気づけば、いつもの景色が違ってみえてくるはずです。そうした歴史豊かな淀江の魅力について、学んでみませんか。

講　師　西村 幸夫 氏　東京大学名誉教授

東京大学工学部都市工学科卒業、同大学院修了。工学博士。
明治大学助手、東京大学助教授、教授、同副学長、神戸芸術工科大学教授、國學院大學観光まちづくり学部長などを歴任。現在、東京大学名誉教授、國學院大學名誉教授。専門は都市計画、景観計画、歴史や文化を活かしたまちづくり。
主な著作に『都市から学んだ１０のこと』（学芸出版社、2019 年）、『県都物語』（有斐閣、2018 年）など。

内　容

司会進行　佐藤 宏之 氏
（東京大学大学院人文社会系研究科・特任研究員、東京大学名誉教授）

- 開会挨拶　松田 陽 氏（東京大学大学院人文社会系研究科・准教授、プロジェクト・リーダー）
- 淀江プロジェクト活動報告　佐藤 宏之 氏
- 講演　「淀江の個性をどのように考えるか」　西村 幸夫 氏

---------- 休憩 ----------

- 鼎談　西村 幸夫 氏、松田 陽 氏、佐古 和枝 氏（関西外国語大学 教授）
- 閉会挨拶　佐藤 宏之 氏

松田 陽 氏

佐古 和枝 氏

申込み方法

電話・FAX・メール等で
① 代表者お名前
② 代表者ご連絡先電話番号
③ 参加希望人数（代表者含む） を添えて
米子市淀江文化センターにお申込みください。

- 電話　０８５９－３９－４０５０
- FAX　０８５９－３９－４０５１
- E メール　saname@yonagobunka.net
- メール申込フォーム QR コード

＜開館時間＞9:00 ～ 22:00
＜休館日＞毎週水曜日

東大人文・淀江プロジェクト とは

１９０１年日本の考古学・人類学の草分けと評される坪井正五郎氏（東京帝国大学教授）は淀江町を訪ね、本州唯一の石馬に注目しました。
また、長者ヶ平古墳から発見された金銅製冠などの副葬品は、今も東京大学に保管されています。そのような縁もあって、東京大学文学部に、令和４年から当面５年間の予定で立ち上がった淀江研究のプロジェクトです。毎年シンポジウムや講演会を開催し、たくさんの方にご参加いただいています。

主　催　東大人文・淀江プロジェクト
［東大問い合わせ先］　プロジェクト室（佐藤）　☎０３－５８４１－４０４６　hsato@l.u-tokyo.ac.jp
事務担当（瀧口）　☎０３－５８４１－４０２８

共　催　米子市、一般財団法人 米子市文化財団［米子市淀江文化センター］

後　援　鳥取県、NPO 法人 むきばんだ応援団、一般社団法人 淀江ロマン遺跡回廊